

環太平洋連携協定 (TPP) について国内外で百家争鳴の論議が続いている。TPP 推進派の発言の中に「今さら『鎖国』でもしようとしているのか」との発言を耳にする。

しかし、TPP 推進派の鎖国時代の歴史認識には大きな疑問があった。その戦死者は日清戦争1万5千人、日露戦争で25万人、太平洋戦争でも多くの民間人が犠牲になった。国民が犠牲になった。現在のよつな環境の命を犠牲にする維新

とまで呼ばれた交通事年から年間2万人を上回り、98年からは毎年3万人以上を出し続けている。「金より命」ということは最低限の道徳的観念である。維新後の日本は「国民の命より金」といった経済政策を続

言は物欲の希薄な崇高な人生観の表れともいえる。1億2千万人の国民が守銭奴と化し、国民の命をないがしろにしてきた現代社会を

日 報 論 壇

鎖国に学ぶべき現代

中 洞 正

けてきたと
いっても過
きれいな空気と澄んだ水、安全な食料、そして医療、福祉などを

明治維新以前、日本は「鎖国政策」を敷いていた。それが西欧列強の覇権に対応するため開国し、明治維新を

もすこぶる安定し、120万人といわれた江戸時代に低い評価をする歴史認識は住めない環境にしたことを後世の子孫に何と

迎えたのである。西欧列強からの植民地化を阻止して近代国家を成

立させた当時の先人たちはには敬意を表しな

ればならない。維新後の日本は日清戦争に始まり、日露戦争後半から「交通戦争」の自殺者数は1977 これらの江戸時代の名

59歳)